

とりくもう！ 予防救急

救急車で搬送された方の中には、「ほんの少しの注意」や「事前の対策」で未然に防げたかもしれないものもあります。事故の原因や注意点、予防のポイントを知り、救急搬送につながるケガや病気を未然に防ぐ取り組みを「予防救急」といいます。

事故や病気の対策を！



こんな事故が多く
起きています。

対策は裏面へ！

「やっば」
「あんしんな」
座間が好き!

お問い合わせ：座間市消防署 消防管理課

事故の原因を知って対策をしましょう!

1位 転倒

段差、玄関、廊下など

- 段差につまずかないよう気をつけましょう
- 転倒を防ぐために整理整頓を心がけましょう
- 階段、廊下、玄関、浴室など滑り止め対策をしましょう



2位 転落

階段、ベッド、脚立、椅子など

- 階段などには手すりを配置しましょう
- ベッドにも転落防止の柵をつけましょう
- 脚立などを使用して作業をする時は補助者に支えてもらいましょう



3位 窒息

食物(餅・肉等)、薬等の包装など

- 細かく調理。ゆっくりよく噛むことで窒息予防
- お茶などの水分を取りながら食事をしましょう
- 急に話しかけて、あわてさせないように気をつけましょう



4位 ぶつかる

家具、人、柱、ドアなど

- 慌てず、周りをよく見て行動しましょう
- 通路などに物を置かないようにしましょう
- 暗いところは十分な明るさを確保しましょう



事故を防ぐために

- 事故防止にはご家族などの協力も大変重要です
- 熱中症対策には、早めの水分補給を心掛けましょう



おうちではケケンがいっぱい

1位 ころぶ

風呂場、段差、洗面所など

少しの段差や濡れた床などで転ぶ可能性があります。目を離さないようにしましょう。



2位 おちる

階段、窓、ベランダなど

転落防止の柵をつけたり、踏み台にのぼるものを置かないようにしましょう。



3位 たべる

たばこ、薬、電池など

飲み込みそうなものは、手の届くところに置かないようにしましょう。



4位 ひっかける

ブラインドの紐、水筒のストラップなど

手の届かないところに置き、ひも付きのものは外して遊ばせるようにしましょう。



5位 ぶつかる

机の角、テーブルの角など

角の部分はやわらかいもので保護しておくなど、ぶつけてもいいように工夫しましょう。



乳幼児版

6位 やけど

アイロン、熱い飲みものなど

やけどのおそれのあるものは子供の手の届かないところへ置くようにしましょう。



7位 はさむ

窓、ドア、引きだしなど

危険と思われるところには、鍵などをして開けられないようにしましょう。



8位 きる

包丁、カミシザなど

使用後はすぐに片づけて、簡単に開けられない場所に収納するようにしましょう。



9位 ささる

ペナ、歯ブラシ、ヘアピンなど

ささりやすいものは使用後に片づけるなど、整理整頓を心がけるようにしましょう。



10位 おぼれる

風呂場の水ビニールボールなど

水深が浅くても溺れます。少しの時間でも目を離さないようにしましょう。

